

Weekly report

山形中央ロータリークラブ  
クラブ会報

CLUB NEWS

2016-2017年度国際ロータリーテーマ/人類に奉仕するロータリー

vol.  
**1087**  
2016-2017  
MEETING

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ「ロータリーライフの楽しさを感じよう!」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- |                |              |                             |
|----------------|--------------|-----------------------------|
| ■ 会 長 小泉 俊 哉   | ■ 職業奉仕 金子昌弘  | ■ 副 幹 事 石山徳昭                |
| ■ 会長エレクト 奥山 宏  | ■ 社会奉仕 今野久仁正 | ■ 会 計 川合勝芳                  |
| ■ 副 会 長 中川清美   | ■ 青少年奉仕 本間雅之 | ■ S A A 朝倉克尚                |
| ■ 直前会長 丹野秀樹    | ■ 国際奉仕 長橋正人  | 国際ロータリー会長 ジョン F. ジェーム(アメリカ) |
| ■ クラブ管理運営 小林敏郎 | ■ 幹 事 金子将人   | 第2800地区ガバナー 長谷川 憲治(山形)      |
|                |              | 第5ブロックガバナー補佐 中山 真一(山形西)     |



◆日時/2016.9.00 18:30 ◆例会場/庄司屋 七日町

# お月見例会



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	41名	—	28名	—
修正出席	41名	31名	28名	90.32%
他クラブでメイクアップされた会員				

## <親睦委員会>

今日は更待月(ふけまちづき)の日です。旧暦で二十日の月を言います。月の出が午後10時頃なので夜更けまで待つという意味です。昔の人々が、月を心待ちにしていたことがうかがえます。

日本には四季折々の風習や行事があり必ず由来があるものです。今年の仲秋の名月は9月15日(旧暦8月15日)で十五夜とも呼ばれております。満月は17日でした。仲秋の表現は旧暦で使われる言葉です。春夏秋冬は、それぞれ3ヶ月ずつとなり、この3ヶ月を順に「初・仲(中)・晩」と呼んでおります。春が1~3月、秋は7~9月ですので、8月が仲秋となります。

ところで、皆さんは幼い子供に「お月様にどうしてウサギがいるの?」と聞かれたことはありませんか? このお話しの由来は後ろに記しましたので、ご存知の方も今一度読んでみて下さい。お釈迦様の前世でのお話です。うさぎ うさぎ に見てはねる

十五夜お月さま 見てはねる? この歌を唄いながら、お月様の中のうさぎの由来を数年前娘に話したことを思い出します。

さて、お月見は何のために何をするものなのでしょう? それは、①月に感謝をし、②農作物の豊作祈願と収穫の感謝、③月を眺め愛でる習慣という意味が込められております。

- ① 月に感謝・・・電気がなかった時代、月明かりは農作業の大きな手助けとなり、月に感謝を捧げたといいます。
- ② 農作物の豊作祈願と収穫の感謝・・・豊作祈願をし、無事収穫を終え感謝を捧げる儀式がお月見という風習に繋がったと言われます。
- ③ 月を眺め愛でる習慣・・・古来から日本人は、和歌などにも「月」がよく詠まれているように、月を眺め楽しむ習慣がありました。

次に団子やすずきを飾るのは、何故でしょう? 月を鑑賞する風習の始まりは中国から伝わってきたと言われます。日本での始まりは平安時代、朝廷のような高貴な人たちによって行われた行事が、室町時代に庶民へと広がったと言われます。

団子・・・お月見団子を供える習わしは、庶民へ広がってからと言われております。中国では名月の日に月餅を贈りあう習慣があり、日本では月に似せ、丸く見立てた団子を供え物として使うようになったと言われております。始まりは秋に収穫される里芋で、地域によっては、お団子を里芋に似せた形にしているところもあるようです。

ススキ・・・秋の七草であるススキは、月の神様を招くの依り代(よりしろ)として供えられたと言います。依り代とは神霊や御霊が依りつく物や場所のことで、神様の仮初の体と考えられています。本来月の神様の依り代は稲穂です。お月見の時期に稲穂がなかったため、形が似ているススキを供えるようになったと言われます。

お供え物のひとつひとつには、いろんな意味が込められています。日本の伝統行事には日本人の大切な心があります。

今なお受けつがれている文化を後世に伝えるためにも、今一度お月見の意味を確かめ、今年は感謝の気持ちで月を眺めてみると、また違ったお月見の良さを感じることができるのではないのでしょうか。

年に2回行われるお月見の行事。旧暦の8月15日に行われる仲秋の名月(十五夜)と旧暦の9月13日の十三夜、後ろに記したウサギのお話しのように、月に心を映してみてもは如何でしょうか?



むかし、深い森に一匹のウサギがすんでいました。ウサギには、カウソと山犬とサルが友だちがいました。ウサギはいつもみんなにこうっていました。「困っている人がいたら助けてあげなくてははいけないよ。食べ物がほしいという人には自分の食べ物を分けてあげようね」「そうだね」こうして四匹の動物たちは仲良く暮らしていたのです。

ある日のこと、一人の旅の僧が森にやってきました。よろよろして、ひどく弱っています。四匹の動物たちは心配してかけよりました。「どうかしましたか」「わしは、もう何日も食べ物を口にしておらんじゃ。すまぬがわしになにか食べ物を施してくださいませんか」さあ、四匹はさっそく食べ物をとりにでかけていきました。カウソは大急ぎですみかにもどり、大切にしまっておいた赤い魚をもってきました。「さあ、これを食べてください。おいしい魚です」山犬もとっておきの肉をもってきました。「わたしの布施です。さあ、召しあがれ。元気がでます」サルは木に登ってマンゴーの実をとってきました。「さあ、甘くておいしい果物を食べてください」一方、ウサギは季節から自分の食べ物さえなくて困っている時でした。必死になってあちこち食べ物をさがすのですが、どうしても見つかりません。途方に暮れてもどってきたウサギは旅の僧にいいました。「お願いがありま

す。どうか薪を集めて火をおこしてください」いわれるままに旅の僧は火をおこしました。するとウサギは、「わたしにはあなたにさしあげる食べ物はなにもありません。どうか、焼けたわたしの体を食べてください！」そうやって真っ赤な火の中にとびこんだのです。ところが、ふしぎなことに火はすこしも熱くありません。その時です。旅の僧はみるみるうちに、帝釈天の姿となりました。「ウサギよ。わたしはおまえが日ごろいっている施しの心が本当かどうか試していたのだ。だが、おまえの気持ちに偽りはなかった。そのやさしい心と行ないが世界中に広まるよう、月におまえの姿を印そう」帝釈天はそうやって天界に帰っていきました。

その夜、四匹の動物たちは山の上に集まりました。「ウサギさん。お月さまの中にあなたとよく似たウサギがいるよ」「あれはね、わたしの心が映っているんだ。この心が真実ならば、お月さまは明るく輝く。わたしがちょっとでも悪い心をおこしたら暗くなるんだ」「今夜の月はとっても明るいね」「そうだね。また明日からも施しをしていこうね」みんな笑ってうなずきました。すると、満月はいちだんと明るさをまして、世界中をてらしていました。

『ジャータカ絵本』（諸橋精光著）大法輪閣



### 近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形グランドホテル	山形北 山形グランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山 しまわり館	山辺 料亭さ津き	上山 月岡ホテル	寒河江 グランデール寒河江	天童 滝の湯
天童西 ホテル王将	寒河江さくらんぼ ホテルシンフォニー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パレスグランデール	※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。			



# 山形中央ロータリークラブ クラブ会報

# CLUB NEWS

2016-2017年度国際ロータリーテーマ/人類に奉仕するロータリー

vol.  
**1088**  
2016-2017  
MEETING

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ「ロータリーライフの楽しさを感じよう!」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日 12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- |                  |              |                             |
|------------------|--------------|-----------------------------|
| ■ 会 長 小泉 俊 哉     | ■ 職業奉仕 金子昌弘  | ■ 副 幹 事 石山 徳 昭              |
| ■ 会長エレクト 奥山 宏    | ■ 社会奉仕 今野久仁正 | ■ 会 計 川合勝芳                  |
| ■ 副 会 長 中川 清美    | ■ 青少年奉仕 本間雅之 | ■ S A A 朝倉克尚                |
| ■ 直前会長 丹野秀樹      | ■ 国際奉仕 長橋正人  | 国際ロータリー会長 ジョン F. ジョーム(アメリカ) |
| ■ クラブ管理運営 小林 敏 郎 | ■ 幹 事 金子 将 人 | 第2800地区ガバナー 長谷川 憲治(山 形)     |
|                  |              | 第5ブロックガバナー補佐 中山 真一(山 形 西)   |



◆日時/2016.9.27 18:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形



## クラブフォーラム

山形中央ロータリークラブとしてこれまでも周年事業や奉仕活動を実施してきましたが、もう一度会員の皆さんで今後のクラブの活動について議論し、今後のクラブの運営に際し役立てていただければという主旨でクラブフォーラムを開催いたしました。

限られた時間で議論をするため、パネラーに小泉会長、丹野直前会長、奥山会長エレクト、中川副会長、コーディネーターに長橋国際奉仕委員長で開始いたしました。

今回のクラブフォーラムを進めるにあたり周年事業、奉仕事業について事前アンケートを会員の皆様より頂戴しておりますので新沼プログラムより結果を報告いたしました。

周年事業については、「10年単位で実施する」が35名、「5年単位で実施する」が2名、「どちらでもない」が2名という結果でした。これに対しパネリストの皆さんから意見が出されました。記念式典、講演会、パーティー、友好クラブの招待となると大掛かりになり財政面のことも考慮すると10年単位が望ましいのではないかと意見が出されました。また、5年単位というよりクォーターとして考えてはどうなのか。他クラブでも実施しているようにやり方次第では出来るのではないかと意見も出されました。

奉仕事業については、「クラブとして何かひとつ奉仕活動に継続的に取り組む」が21名、「これまでどおりの活動でよい」が

12名、「どちらでもない」が5名という結果でした。

パネリストからの意見としては、「積極的に参加し汗かく活動をしてはどうか」「負担にならないように活動してはどうか」「ふれあい芋煮会の内容も見直してはどうか」という意見が出されました。パネリストの皆様から意見が出され、その後会員の皆様にも意見伺いましたところ、奉仕活動について活発な意見が出されました。「山形中央ロータリークラブは親睦活動については充実しているが奉仕活動が弱点である」「社会奉仕活動はふれあい芋煮会のみであり、青少年奉仕、国際奉仕がなされていない」また、「ふれあい芋煮会が形骸化していないか、もっと身のあるものにするべきである。継続する中で修正や新たな展開を考えていかなければならない」「金があれば知恵を出す。知恵がなければ力を出す。ロータリークラブとしてそのような意気込みでやるべきではないか」「もう一度ロータリークラブの目的を考え、奉仕活動を通じて自分たちも学ぶべきである。ロータリーの原点を考えよう」と多数の意見が出されました。

最終的には結論には至りませんでした。今後クラブフォーラムでこのような議論を行っていくことに意義があり継続していくこととなりました。

最後に奥山会長エレクトより「本日のクラブフォーラムで出された意見を次年度に活かしていきたい」と閉会挨拶をいただきクラブフォーラムを終了いたしました。



小泉俊哉/新沼委員長、大変ご苦労様でした。これからも奉仕活動頑張っていきます。宜しくお願い致します。  
伊藤和子/遅くなりましたが、鹿児島城西RCへのツアーでは皆

様のご協力の元無事終了させて頂きまして感謝申し上げます。  
金子昌弘/言いたい放題言わせていただきありがとうございます。  
後藤完司/鹿児島訪問の時の平和記念館では、電話紛失騒ぎで迷惑をおかけしました。  
新沼悟/小泉会長、丹野直前会長、奥山会長エレクト、中川副会長、そして長橋さん貴重なご意見ありがとうございました。

### 本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	41名	—	23名	—
修正出席	41名	34名	32名	94.12%
他クラブでメークアップされた会員	(山形西) 深瀬隆志			